

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和 4年 2月 3日

事業所名： おひさま園

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・十分な確保をしている 利用児に応じて、パーティションで仕切りながら、子ども達が落ち着いて過ごすことが出来るように工夫している	・人数が多い時は走り回るとぶつかりやすい。	・十分な部屋の広さがある。 ・広すぎると走り回ってしまうため、パーティションを利用して、部屋を狭くしたりしながら子どもたちに合わせて工夫している
	2 職員の適切な配置	・適切な配置をしている	(ご意見なし)	・適切な配置をしている
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・子どもに合わせて、見通しが持てるように環境を設定したり、絵カードや写真を利用して分かりやすくしている	・わかりやすくして頂き、本人も自分でできることが増え安心して通園しています。	・利用者に合わせて、視覚支援を行い様々な対応をしている
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日の掃除をしっかりと行っている ・室内へ入る時や昼食、おやつ前には必ず手を洗い、消毒をしている ・玩具の消毒も定期的に行っている	(ご意見なし)	・日々の掃除を徹底して、玩具の消毒も行っている
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・毎朝、朝礼を行って、活動の流れを確認するようにしている ・個別に支援を必要とする子どもについては、カンファレンスを行い支援についてスタッフ間で統一するようにしている ・日々の反省もしっかり行い、終礼を持つことで他のクラスのことでも全職員が把握できるようにしている		・打ち合わせや反省を日々しっかり行っている
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・他事業所の職員と合同カンファレンスを行い、意見交換の場を設けている		・実施していない
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部での研修の機会がある時は、スタッフが自主的に参加するようにしている ・また外部の研修に出たスタッフは研修報告で他のスタッフに報告する機会を持っている		・外部での研修には進んで参加するようにして、園内研修も行っている。また、研修に行ったスタッフから、研修報告する場を設けて質の向上を図っている
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・利用児の課題や支援方法について検討する会議の場を設けている	(ご意見なし)	・アセスメントを行い、保護者の思い、利用者の思いを反映しながら、職員間で話し合い計画書を作成している
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・カンファレンスを行い、計画を立てている		・子ども一人一人の発達の特性を掴むため、アセスメントを行い職員間で話しながら計画に取り入れている

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・スモールステップで子どもたちが実際に達成できる目標を立てるように心掛けている	・専門家の方に計画を作って頂けてありがたいです。	・保護者に分かりやすい計画書を作成するように心掛けている
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・利用児の今の目標を職員が意識できるように打ち合わせで話すようにしている	・個別に必要な応じたプログラムを考えて頂き、毎日の積み重ねで成長を実感できています。	・子ども一人一人の目標や課題を職員が把握して、日々の療育に取り組んでいる
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・園会議を持ち、子どもたちが楽しめる活動内容の工夫をしている		・園会議やクラス会議を持つようにしている
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・休日の前には、保護者に次回の利用日の確認をしたり、休み明けには家庭でどのように過ごしていたかを確認して支援している	・本当にいつも様々な活動をして下さってありがたいです。	・長期休みの前には、次回の利用日の確認をしたり、病気で休みの場合は、子どもの具合を尋ねたりしている。休み明けには、家での様子も確認して、保護者の困り感も把握するようにしている
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・同じようなプログラムにならないように、スタッフ間でプログラムについて話したり、楽しい活動を本やインターネットで調べたりしながらプログラムを行うようにしている		・プログラムがマンネリ化しないように工夫している
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・職員間で朝礼を行い、朝の打ち合わせをしている		・打ち合わせを十分に行い、支援内容や役割分担の確認を毎朝している
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・各クラスで反省を行い、職員間で共有できるように終礼でクラスの反省や様子を伝えあっている		・反省会を持ち、同じ反省が繰り返されないようにしている
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・日々の日誌を記入して、次の日に活かせるように徹底している		・細かいことでも記録をしっかりと書くようにしている

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年ごとに個別支援計画書を作成・見直しを行い、その際に保護者との面談を持ち、現状の報告をして保護者のニーズを再確認している		・定期的に会議を持ち、計画書の見直しをしている
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・担任やサービス管理責任者が積極的に担当者会議に参加するようにして、利用児の様子を見ながら、必要に応じて会議を持つように提案している	・積極的に担当者会議に参加し、必要に応じて会議をしている
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当者なし	利用児なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当者なし	利用児なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・送迎でお迎えに行った時には、子どもの様子を尋ねるようにしたり、連携会議を持つようにして、支援内容を共有している ・サポートブックの作成を積極的に取り組んでいる	・サポートブックの作成に積極的に取り組んでいる
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・就学前は保護者との面談を多く持ち、小学校との話し合いも行っている	・就学前の児童は面談を多く持つようにして、必要に応じて小学校との面談もするようにしている
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修には、積極的に参加するように勧めている	・研修には、積極的な参加を勧めている
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・新型コロナウイルスの影響もあり、現在交流は行っていないが、終息後に考えていく。	・コロナ禍でできないと思うのでこれで良いと思います。 ・現在は新型コロナウイルスの関係もあり、交流等はできない状況かと思っています。 ・必要ないと思います。年齢的にもまだ相手を意識することは難しくメリットがあるように思いません。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域の子ども達と保護者が来る日を作っている		・地域の子どもたちと保護者の方が遊びに来る日を設けている
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時にしっかりと説明している	・変更等があるたびに丁寧に説明して頂いています。	・契約時に説明している
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・面談を持って、保護者と話をしている	・面談時に一項目ずつ本当に丁寧に説明して頂き、親も理解できてありがたいです。	・面談を持ち、保護者と話をしている
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・新型コロナウイルスの影響により、子育てについての座談会(おひさま会、ママ会)をzoomで実施グループ分けをして少人数で行うようにしている。	・定期的に勉強する機会を作っていただき、家での支援につながっています。	・おひさま会・ママ会の実施
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・日々、連絡帳や送迎時に密に話をするようにしている	・参加した時には、必ず声をかけてくださり、相談等につなげています。	・日々の子どもの様子を連絡帳で知らせたり、送迎時に話をするようにしている
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者から相談があった時には、現場のスタッフやサービス管理責任者が検討して相談・助言等の対応をしている	・母子登園もあり、いつでも心配事があると相談させてもらっています。	・いつでも相談に乗れるようにしている
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・子育てについての座談会は、保護者の参加しやすい日程で調整している	・コロナ禍以前はたくさん機会がありました。現在は仕方がない状況かと思えます。	・保護者の参加しやすい日程でおひさま会やママ会をしている
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・保護者の思いを十分に聞くようにして、その都度対応している	・他の保護者から出た意見も適切な形で全員に意見を確認し、対応してくださっています。	・保護者の思いを十分に聞くようにして、その都度丁寧な対応を心掛けている
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・写真や絵カードを活用しながら、分かりやすく伝えるようにしている	・毎日連絡帳へ詳しく様子を書いて頂いています。	・写真や絵カードを用いて分かりやすく知らせている

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・ホームページの更新や保護者へのお便りで知らせている	・おたよりやホームページでのお知らせをいつも楽しみにしています。	・ホームページの更新を定期的に行い、毎月おひさま便りを配布している
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・児童のことに関しては、事業所内で話をするようにし、書類を破棄するときも個人情報の書いているものは、必ずシュレッダーにかけて捨てるようにしている ・ホームページは、利用者に確認をとってから、写真を掲載するようにしている	・個別に写真に顔出しOKか希望に沿って頂いています。	・同意をもらい取り扱っている
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各種マニュアルを事業所に設置し、職員は目を通している	・一部わからない。 ・災害時どうすればよいか書面で頂いています。	・マニュアルの作成をしている
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・定期的に避難訓練を行い、AEDの研修にも積極的に参加していく	(ご意見なし)	・定期的に避難訓練を行っている
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・子どもや保護者の小さな変化を見逃さないようにする		・子どもや保護者の小さな変化を見逃さないように心掛けている
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体拘束は、行っていない ・離席のある子どもに座るよう促す時の対応では、保護者に説明して理解を得ている		・身体拘束は、基本的に行っていない。 ・離席のある子どもを座るように促すときには、保護者への説明をするようにしている
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者からの聞き取りと調査票への記載をしている		・保護者から聞き取り、調査票への記載をしている
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・職員間での共有をして、同じことが起こらないように工夫している		・職員間で共有して、同じことが起こらないようにしている